

平成15年度宝くじ助成事業成果概要

企画部

河川は水と緑のオープンスペースとして、うるおいとやすらぎの場、レクリエーションと憩いの場などの役割を担っており、河川空間の種々の機能に対する期待と要請が一層増大している。

そのため、これらの機能を充実させ、良好な水辺空間の形成を図っていくことが益々重要となっており、当センターでは、(財)日本宝くじ協会の支援を受け「水辺空間整備に関する広報活動事業」を昭和62年度より実施している。平成15年度は57,650千円(税込み)の助成を受け、全国の市町村を対象にした「水辺施設の設置」及び「水辺空間整備に係わる調査研究成果に関する出版物の作成」を行っている。

1. 水辺施設の設置

水辺施設は良好な水辺空間形成の一環として、水辺空間の快適性や豊かな自然環境を向上させることを目的に、市町村を対象に公募し、水辺施設選定委員会に諮り選定された6ヶ所に設置した。その内訳は、「アメニティ」の向上に寄与する施設4ヶ所、「生物の生息環境」の向上に寄与する施設2ヶ所であり、その内容は以下に示すとおりである。

① 「アメニティ」施設 4ヶ所

- ・利根川水系鬼怒川(茨城県千代川村):あずまや
- ・高橋川水系仁助川(富山県黒部市):水辺観察施設
- ・信濃川水系犀川(長野県明科町):あずまや
- ・天神川水系三徳川(鳥取県三朝町):あずまや

② 「生物の生息環境」施設 2ヶ所

- ・阿武隈川水系大滝川(福島県岩瀬村):ピオトープ
- ・木曾川水系木曾川(長野県木祖村):ピオトープ

2. 出版物の作成

出版物は、以下の7冊を作成し、国、地方自治体、民間団体等に配布した。

- ① 「魚類生息環境の水理学」
- ② 「河川生態系の基礎知識」
- ③ 「河川における外来種の対策の考え方とその事例」
- ④ 「川の自然を見つめてみよう(河川に進入する外来種)」
- ⑤ 「『川に学ぶ』活動事例集」
- ⑥ 「河川空間における運動施設設置の留意点」
- ⑦ 「別冊FRONT(災害と「水」)」

平成16年度も引き続き宝くじ協会の支援を受け、本事業を実施する予定である。水辺施設は、昨年の12月から1月にかけて募集し、2月に選定委員会に諮り、その結果、栃木県小山市、栃木県二宮町、千葉県佐倉市、島根県日原町、広島県豊平町、愛媛県双海町の計6箇所を選定した。惜しくも選定されなかった市町村を含め、ご応募頂いた関係者の皆様にあ

らためて深く感謝申し上げます。



利根川水系鬼怒川(茨城県千代川村)



天神川水系三徳川(鳥取県三朝町)



高橋川水系仁助川(富山県黒部市)



信濃川水系犀川(長野県明科町)



阿武隈川水系大滝川(福島県岩瀬村)



木曾川水系木曾川(長野県木祖村)